

プログラム名									
防災・復興人材特別プログラム（新学術創成研究科）									
プログラムのCP(教育課程編成に関する基本的考え方)									
本プログラムは、直接、防災・復興に関する科目のほか、復興後の知見となる授業科目により体系的に編成する。									
教育内容・教育方法(教育課程実施)に関する基本的考え方									
1. 教育内容 (1)防災及び被災地域の復興支援に資する社会データの分析・活用、社会ニーズの抽出によりこれからの地方創生、まちづくりを学ぶ。 (2)観光防災へのDX活用や防災対策をテーマとしたディベートを通じて問題の本質の把握を学ぶ。 (3)防災・復興のDX活用に向け、データ収集・解析、デジタルツールの活用と実践的な課題解決について学ぶ。 2. 教育方法 (1)必要なデータを学び、データ分析等を実践形式で行う。 観光防災DX学、社会ニーズと共同研究、デジタル活用とDX実践 (2)所定のテーマについて、グループでディスカッション、ディベート、プレゼンテーションを行う。 公共空間デザイン基礎論、観光科学と価値デザイン、事業経営のリスクマネジメント、情報社会の地方創生、国際ディベートとプレゼン実践 (3)プロジェクトテーマを設定し、他者と協働して課題解決に取り組む。 デジタル活用とDX実践、AIと産業協働									
プログラムを構成する科目 ※1									
科目番号 ※2	授業科目名 ※3	学修目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4		
35205	公共空間デザイン基礎論	地域の様々な主体が連携して生み出されるパブリックスペースの歴史的背景を理解し、1)賑わいや憩いなどの活動の場づくり(プレイスメイキング)の方法、2)公共性を担保しつつパブリックスペースを創出する技術および制度、に関する知識を身に付け、防災・復興も見据えた都市におけるパブリックスペースの活用について探求する。	1	○					
35209	観光防災DX学	本授業では、DX化の事例を整理するとともに、観光・防災DXの視点からDX化推進までのプロセスを学ぶ。また、DX推進に不可欠であるデータ収集・解析について学ぶことを目的とする。	1			○			
35401	社会ニーズと共同研究	災害時においても認知バイアスが起ること自体は避けられないという前提のもと、それが起こる認知の仕組みを理解するとともに、「研究者・分析者としての自分」にどのような認知バイアスが起りやすいのかを認識することで、自身を客観視し、中立的な立場で社会データを分析する能力の向上を目指す。	1				○		
35402	観光科学と価値デザイン	観光を様々な学問分野と融合した科学と捉えることによって、観光学だけではなく、統計学、交通工学、防災計画、都市デザイン、経済学などの融合研究分野として網羅的に理解し、フィールドワークや発表を通して新たな価値基盤を構築できる能力を身につけることを目標とする。	1				○		
35403	デジタル活用とDX実践	データ分析、プログラミング、プロジェクトマネジメントなどの実践的なスキルを身につけるだけでなく、修得したデジタル技術の活用により世の中に新たな価値を創出するDX実践スキルを防災・復興等の様々な分野での総合的な社会実装にまで結びつけるための知識と実践力の修得を目指す。	1				○		
35404	事業経営のリスクマネジメント	本授業では、高度化・複雑化し、自然災害リスクも高まる現代社会におけるリスクマネジメントの必要性と社会的意義について学び、確率論、経済学、ファイナンス理論に基づくリスクマネジメントの理論と実践を総合的に修得する。特に、定量的・定性的分析の実践を通じて、効果的な意思決定を行うための思考力や理解力を多面的に養成する。	2		○				
35405	情報社会の地方創生	地域学の学問枠組みをベースとして、防災・復興を含めた地方創生政策の展開とデジタル化を加えた最近の政策動向を理解し、地方創生の具体的な課題と対策を考察する。	2		○				
35406	AIと産業協働	本授業では特にAIに関連したプロダクトやサービスを提供する企業・自治体(協働企業先)における災害からの復興も含めたリアルな現場の課題に対して、その解決を実践するプロセスを学修し、企業や自治体の中で、異なる年代や立場の方々と協働し、成果を出すことを目指す。	2		○				
35501	国際ディベートとプレゼン実践	テーマ(発展途上国の防災対策と災害先進国日本との比較、先進国の防災対策と災害先進国日本との比較、等)ごとに事前調査や資料収集を行った上でディベートを行い、他人の意見に耳を傾けながら自分の考えを論理的に発表し、討論に必要な技術・能力を修得することが出来るようになることを目標とする。	1		○				
(77656)	(防災・復興学入門A)	多様な自然災害のメカニズムや対応策・課題を地球科学、社会基盤学の観点から総合的に理解することで、自然災害に対する問題意識を喚起する。合わせて、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を地域創造学や観光学等の多角的視点から学修する。	1～2		○				
(77657)	(防災・復興学入門B)	学校における安全管理・安全教育、災害に伴う医療・福祉・保健事業支援等について対応策や課題など、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を教育学、保健学等の観点から学修する。さらに、防災士として将来地域社会で活動することを見据え、その際に必要となる基礎的な知識やスキルを実務者からの講義や演習を通じて身につける。	1～2		○				

※1 他研究科開講の授業科目は、当該授業科目を開講する研究科等のカリキュラム・マップで確認してください。

※2 ()は共通教育科目の科目番号

※3 ()は共通教育科目の授業科目名